

2022年5月7日

新大久保駅ガード下の壁画の書き換え作業が、

明日5月8日の深夜から、はじまります。

まず、高圧洗浄を行います。

5月11日、12日で壁を、背景の色に塗ります。

作業期間は、6月はじめまでの予定です。

夜間作業ですが、歩道が狭くなります。

みなさんの、お帰りの時間帯とも、かさなるとお思いますので、気をつけて歩いて、いただけますように、お願いします。

ご協力をよろしくお願ひいたします。

新大久保商店街振興組合



新大久保駅の、ガード下両側の壁面に天使たちが描かれています。新大久保には、多くの国の方々が生活し、働いています。

だれもが、いろいろな問題をかかえていると思いますが、お互いに優しい気持ちを持ち、仲良く暮らしていこうと考える街をめざしています。

「天使のすむ街 新大久保」をイメージして、この壁画が書かれました。

今回は、時を経て、汚れてしまった壁画を復活させて、いま混沌としている世界に少しでも明るい光を照らすことができればと考えて、天使の壁画を作り変えることにしました。制作は高岡洋介さん・横島基尚さんのお二人に、今回も描いてもらいます。

壁画制作は、交通の妨げにならないように夜間作業としました。

5月15日(日)～6月4日(土)を考えています。

作業時間は、22時～4時半になります。

壁画制作にあたり、前理事長伊藤節子氏が、何ヶ月も東奔西走して、ここまで来ました。東日本旅客鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、新宿区役所などの皆様の協力により、壁画制作が出来ることになりました。

(お問合せ) 新大久保駅壁画制作実行委員会 伊藤節子

s-hanko@hb.tp1.jp 090-1437-2275

天使のすむ街について

様々な国の方が住んでいる新大久保、それぞれ様々な問題を抱えています。民族間の壁を超え相互理解を深めるため、世界中で共通の理解が得られる「天使」という存在を商店街のシンボルにしました。天使のように優しい気持ちを忘れずに、お互いにリスペクトして接していこう、誰の心にも住んでいる天使を一人一人が大事にしよう、といった気持ちと願いがこめられています。

新大久保商店街振興組合

事務局長 武田一義

music@siplan.co.jp